（別紙２）

令和５年度老施連　事例研究発表会　評価基準

≪趣　旨≫

この基準は、老施連　事例研究発表会において、日々の介護現場における実践研究を発表していただくことで、参加者が持ち帰り各施設において実践していくことができる効果の高い発表を評価するものです。

本基準に基づいて採点評価を行い、中国地区老人福祉施設研修大会分科会発表において広島市代表として推薦する事例を選出します。

≪評価基準の概要≫

次に挙げる 10 項目を各５点満点で採点を行い、その合計点を最終評価点数として、点数の高いものから順に選出します。

同点の場合には審査員による協議（投票・採決を含む）で決定します。

発表時間（15 分間）をオーバーした場合には合計点より３点を減点したものを最終評価点数とします。

１．企画力

①目的設定から、実践～結果～考察が一連のプロセスとして明確に表現されている。

②抄録原稿に、取り組みと関係の深いキーワードが記載されており、内容の把握が参加者にとって容易である。

③発表資料で箇条書きやグラフをうまく使い、参加者が理解しやすいよう工夫がなされている。

２．発表力

④抄録原稿と発表資料の説明が統一されており、参加者にとって見やすい内容である。

⑤発表態度（声の大きさ、身振り手振り、目配り等）が参加者にわかりやすい。

⑥発表内容のポイントを押さえた簡潔な話である。

⑦会場内の質問に対し、適切に応答できている。

３．応用力

⑧発表内容が他施設においても参考となるものである。

⑨科学的根拠に基づいて分析・考察がなされ、現在の高齢者ニーズに応える内容である。

⑩分析に基づいて、次の段階に結びつく適切な考察がなされている。